

予選の個人戦は数学 2 問、理科 6 問で、数学では計算力より計算に至るまでの過程が正しいかどうか、問われる問題でした。団体戦も数学、理科とも短時間で 3 人が協力して答えを導かねばならず、チームワークが大変重要でした。本選の数学では、分担を決めて取り組んだものの、連携が十分にとれず答えのかぶりに苦戦しました。本選の理科の実験工作では、ニュートンの振り子はすぐに思いつき、装置の大まかなプランはできたが、玉の回転を防ぐ方法がなかなか思いつかず苦勞しました。最後に予想したとおりの結果が得られ、高得点を得ることができました。本当に仲間に助けられました。全国大会では、よりチームの連携を強化して臨みたいと思います。

予選の団体戦は 5 択問題で、第 1 問の数え上げ問題を間違え、動揺しました。チーム全員で気持ちを切り替えて、後の問題に臨みました。本選の理科の実験工作課題は、与えられた鉄球を使って、ビリヤードの“ストップショット”を再現するというものでした。制限時間ぎりぎりになっても納得いく装置ができない上、2 回ある試技の内の 1 回を無駄にしまい、冷や汗をかきましたが、2 回目には上手く成功させることができました。私自身は焦ってしまったり、思いつかない問題もあつたりしましたが、頼もしい仲間が新たなアイデアや答えを導いてくれて、本当に彼等に感謝したい思いです。